
プロシーディング

審美歯科の最前線「おとなの歯の矯正」

花 田 晃 治

明倫短期大学 歯科技工士学科

Adult orthodontics

Kooji Hanada

Department of Dental Technology, Meirin College

キーワード：成人矯正治療，歯周矯正治療

Keywords：Adult orthodontics, Perio-orthodontics

歯並びの善し悪しは，顔の印象を左右し，他人とのつきあいの上で大変重要な要素です。今，おとなの「矯正治療」が増え，注目を浴びています。社会的にも見た目が気になる年齢だからです。

普通，20歳を超えると，多くの人は歯のまわりの歯周組織の炎症，すなわち歯肉炎にかかりやすくなります。特に，歯並びが悪いと，歯ブラシや歯間ブラシが歯面や歯間にとどきにくく，口腔清掃を十分に行うことができないために，プラーク（歯垢）がたまりやすくなります。この状態が長く続くと，歯肉からの出血が起こり，歯周病になってしまいます。

矯正治療は，噛み合わせを正しくし，口腔の機能である，摂食，咀嚼，嚥下，呼吸，発音などを正常にすることが大きな目的ですが，さらには，その結果，歯周病から歯を守り，長く自分の歯を維持していくことができます。

おとなの矯正治療には，次の二つのタイプがあります。

1. 「歯並び・噛み合わせが悪い」「前歯が極端に突き出ている」などの矯正治療です。

この場合には，歯の数はほとんどそろっており，歯肉炎にかかっている問題になるような程度ではなく，あくまでも審美的な長年の悩みが主な理由です。

2. 「歯がなくなっている」「歯周病にかかって歯が動く，歯が倒れてきた」などの状態の矯正治療です。

歯が抜けたまま，放置しておくとうなるかを説明しましょう。下あごの第一大臼歯を抜けたままにしておいたために，第二大臼歯が前に，第二小臼歯が後ろに倒れ，上あごの犬歯も落ちてきています。こうなると，噛み合わせが深くなり，下の前歯によって上の前歯が押されて突出し，その結果，前歯の間にすき間ができ，発音もはっきりしなくなります。歯が抜けた直後に適切な処置をしておけば，これほどにはならず，矯正治療も必要なかったでしょう。

このような状態の治療としては，通常，まずスクレーピングなどの歯周治療と患者さんによるブラッシングによって，歯周組織をきれいにした上で，個々の歯にブラケットという矯正装置を付けて矯正治療を行います。最後の仕上げとして，ブリッジなどの補綴治療を行います。

ですから，補綴治療が目的で歯科医院を訪れても，義歯を入れるスペースがないとか，ブリッジをかけられる適当な歯がない場合には，まず歯並びについての矯正治療からはじめます。

矯正治療の期間としては，それぞれの患者さんの状態によって異なりますが，6か月から2年ぐらいです。

最近では，金属ではなく，プラスチックやセラミックスのような透明で目立たない装置が開発されています。